

ボクたち、もう厨房に入つてます

今回紹介するグループは、料理教室を活動のひとつにしていますが、“男の料理”をめざしていません。「男樂会」と「アットホームホスピス」、ともに、厨房に入る男子(?)たちです。

おやじ料理で井戸端

主催：男樂会

〈目的〉「男の楽な生き方」をめざし、共に話することでコミュニケーション能力を高める
〈主な活動内容〉定例会：月1回（不定期）、いきいきフェスタへの参加
〈メンバー構成〉男性のみ17名（30～70代）
〈設立〉2004年
〈問い合わせ先〉ウェーブ

Q 会の発足となるきっかけは？

A 男性のコミュニケーションを目的としたウェーブ主催の講座の受講者の有志で始めました。定年後引きこもりがちな男性を外へ連れ出そう、一緒に話すことできしく生きようとの想いで活動しています。

Q 例会ではどのようなことを行っていますか？

A いわゆる「井戸端会議」が主です。テーマがあるときもあれば、先週何した？と近況報告から始まるときもあります。「せっかくだから何か一言話して帰ろう」というのが合言葉です。初めは無口だと思われていた人でも次第に話すようになります。

Q いきいきフェスタではお料理会を行つたそうですが？

A 気持ちがホンワカすることを、料理が好きな人が中心となり、とにかく自分たちが楽しむということを大切にしました。

編集後記

○秋です。おいしいものイッパイ食べるぞね！

体重計冬眠中。（ねい）○内容は同じでも、言葉ひとつ使い方で文章がイキイキしたり、読みやすくなる。言葉には魔法の力がある。（ちび）○はじまってすぐに第一子を出産、遅れて参加しましたが、文章を書くことに大苦戦！短い間に産みの苦しみを一度味わいました。（みかん）○人の話を聞いて自分で問い合わせたり、夫に投げかけてみたり、新しい会話の糸口をいただきました。（村田）○新メンバー、第5期ネットワーク委員の企画編集、第一作目です。

ネットワーク委員とは：西宮市男女共同参画センター ウェーブを拠点に市民参画の事業を推進することを目的に公募で選ばれた市民（任期2年）。現在の第5期委員は主に情報誌の編集・発行をしている。

ウェーブ（WAVE）の意味：「男女がともに行動し、活気に満ちた平等社会をめざす」ことを意味する言葉（With/Act/Vitality/Equality）の頭文字と、男女共同参画社会の実現に向けて大きな波（うねり）をつくっていこう、という思いがこめられています。

男の料理教室 ちょっとつまみ食い

主催：NPO法人アットホームホスピス

〈目的〉ホスピスとグリーフケアの理念を基調に活動。市民自らで家庭介護、男性の介護、家の看取りを考える。

〈主な活動内容〉情報発信・語り合いの開催・遺族の集いなど

〈メンバー構成〉10名（40～60代）

〈設立〉2004年

〈問い合わせ先〉0798-65-2201（吉田）

Q なぜ、活動のひとつに料理教室を？

A 核家族化が進み、男性が介護者にな

るケースは多いです。そこで困るのが食事。料理を作り、患者に食べさせるという行為は、団塊の世代から上の人们には荷が重い課題です。これに一助するのが本教室の目的です。また、料理教室は男性に不足しがちな横のつながりを作ってくれます。

Q 介護ということで、特に気をつけることは？

A 「やさしい料理」がコンセプトです。本当のグルメとは、病める人も健康な人もともに美味しいと思うものであり、それを作ることや作ろうとする気遣いのことです。

Q 介護をしている男性が参加されているのですか？

A 料理初心者の男性だけでなく女性も参加されていますよ。お子さんの参加もOKです。エプロンのつけ方から、皿の洗い方、包丁の使い方、お米の研ぎ方、出汁の取り方、基本からします。インスタント食品の上手な使い方や食材の保存の仕方まで。

インストラクターは複数のプロが順番に担当します。実演と説明、実習、試食、後片付けまで、スタッフも補佐するので、まったくの初心者でも安心して参加してください。

※料理教室は、ニヵ月に一度、西宮市中央公民館調理実習室で開催しています。参加費1500円程度、定員20人、事前申込が必要です。

（理事長：吉川利康さん）



Q 評判は？

A 大変よく、今まで台所に立ったことのない人がレシピを基に家で作り、家族との会話が弾んだという話もありました。当初は料理なんてという人もいましたが、今年はみんなが乗り気。料理がツールになって、人とつながるということを実感しています。

（代表：梅木弘道さん）

ウェーブは、男女共同参画社会の実現をめざす施設です。性別、年齢、国籍にかかわらず、ご利用いただけます。

○開館時間 1月4日～12月28日／9:00～22:00

○受付時間 月～土曜日（年末年始、休日除く）／9:00～17:15

WAVE PRESS Vol.8

●発行日 2009年10月23日

●編集・発行

西宮市男女共同参画センター

ウェーブネットワーク委員会

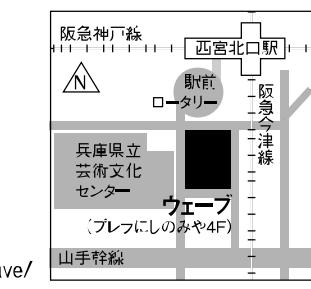
〒663-8204 西宮市高松町4番8号

プレラにしのみや4階

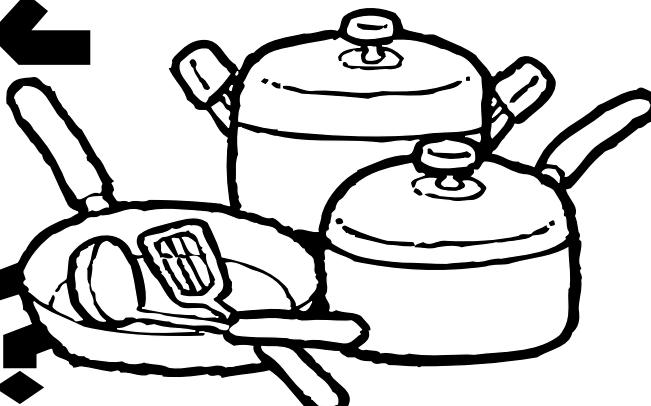
Tel. 0798-64-9495

Fax. 0798-64-9496

<http://www.nishi.or.jp/homepage/wave/>



男子厨房に入る？入らない？



「食べることは生きる基本」だ。

今、注目されている「弁当男子」、

マーケットとしても美味しいようだ。

果たして一過性のブームなのだろうか。



弁当男子の君、モデルため、

流行りだけて厨房に立つもよし。

だけど…



「弁当男子」出現により、関連グッズの売り上げ好調

「弁当男子」という言葉は、2008年冬からメディアで取り上げられるようになった。自宅で自分のために弁当を作り、持参する20～30代の男性を「弁当男子」と呼んでいる。

その効果なのか、今年、弁当箱の売り上げが伸びている。読売新聞（2009年4月16日）によれば、某大型雑貨店は、約100種類の弁当箱を品揃え、仕事帰りの男性が弁当箱を購入している。売り上げは昨年の約1.5倍。弁当に伴い、こだわりの水筒や箸の売り上げも順調だ。水筒は男性の客が増え、昨年比1.6～1.8倍の売

り上げになっている。

YAHOO!ブログで「弁当男子」とキーワードで検索すると、770件の記事、566件のブログにヒットする。書店にも男性向けの弁当レシピ本が並ぶようになった。

時代変化の中で生まれた「弁当男子」市場

1991年のバブル経済崩壊により、親の世代とはまったく異なる価値観の時代に弁当男子たちは育った。高度経済成長に伴い、将来に明るい希望を抱き、終身雇用・年功序列で働いた時代は過ぎ去った。

そして、100年に一度と言われる世界不況の今、収入の増加は見込めない。一般

の消費が伸びず、節約せざるを得ない時代背景に、「エコ」「健康志向」が絡み合い、「弁当男子」というすきまに市場の光が当たっている。

男性が進出している“女性”的分野は弁当だけにはとどまらない。男性化粧品メーカーや大手製薬会社が男性用化粧品市場を拡大し、不況にもかかわらず、売り上げを伸ばしている。女性だけではなく、男性の財布もターゲットにして成功したことだ。

弁当男子は弁当を作り続けるのだろうか？

家事時間国際比較（女性のデータブック 第3版）によれば、日本、カナダ、アメリカ、フィンランドの有職女性の家事時間は平均3～4時間に対し、有職男性はカナダ、アメリカ、フィンランドでは平均1.5～2時間、日本は0.5時間である。残念ながら、数字には弁当男子の存在は現れていない。

これからは女性も働くなければ食えない時代だ。女性にとって「料理ができるのは婚活の大きなアピールポイント」になったのは今は昔。男性も家事を「手伝ってあげている」から、主体的にかかる・分担する」へ発想転換が必要だ。

弁当男子が世の中に馴染み、特筆すべき存在ではなくなったとき、次に市場は何を生み出すのだろう。

ごちそうさま、です

「弁当男子」に
聞いてみました

しんどいし、 楽しくないですよ

(Hさん 20代 公務員)

弁当作るのは経費節減のため、1年前から作っています。毎日作るときもあるし、週に2、3回のときも。材料費は150円以内になるようにしています。朝、調理にかける時間は長くて15分ぐらい。

一人暮らしなので、晩御飯の残りや冷凍している作り置きのおかずを入れることもあります。料理の作り方は本やインターネットを参考に、外食は滅多にしないですね、まわりには、長続きしないだろうと思われていましたが、今は慣れたようです。もし誰か作ってくれる人がいたら、自分では楽しくないから作りませんね。（「彩りもいいし、結構楽しんでいるように見えるよ！」by Hさん）

レパートリーを増やしたい！

(Kさん 20代 大学生)

週1、2回作るかな、がっつり食べられるボリュームのあるものを意識しています。あと、早く作れるもの。食材は業務用スーパーを利用することが多いです。まわりに弁当作ってくる男の子はないけど、おいしそうって言ってくれます。野球部なのでアルバイトをする時間が少なくて、節約のため、大学に入学してから作り始めました。弁当作るのはちょっと楽しいかな。でも、誰か作ってくれる人がいたら、作らないですよ。朝早く起きないといけないから。弁当以外の料理はたまに作りたいんですけど。（幼稚園のころから包丁を持たせていきました… by Kさん）

うらやましいわー。
来年定年退職する
夫にもしてもらいたいわ。(50代女)

男子が弁当を作ると、なんでこんなに話題になるの？
オカンはずっとずっと作り続けているのに、なんで？
弁当男子、みなさんどう思います？



矛盾してるのは、
葛藤してるからなんです。
キッチンが男の城に
なったら私のやること
なくなるかも…

私の身近には未だ存在しない弁当男子。今回取材した弁当男子の弁当は見事なもので私は驚いた、ご飯は混ぜご飯、おかげは味が混ざないようにしきりがしてあり、彩りもきれい、「愛妻」弁当顔負けなのだ。楽しんで作っているようにしか見えない、弁当男子には好意的な声は多いけれど、意外と大歓迎の声が少ないのは、「上げ膳据え膳が理想」といしながらも、未だに「キッチンは女の城」と思っている、私と同じような矛盾を抱えている女性が多いからだと思う。

食事を作ることは、子育て中で家にいる私にとって、掃除や洗濯よりも比重が大きい。それがなくなってしまうと、やることがなくなると思ってしまうくらい大きるものになっているのだ。それに、手間暇かけて作った料理を食べた家族が「美味しかった」と言つてみせる笑顔、その笑顔に感じる何とも言えない充実感はまだ譲れないと思ってしまう。

でも、自分で作って食べることは大切。そういう意味でも弁当男子は大歓迎なのだ。私のまわりに大勢いる「作ってくれなきゃ食べない」男では困るのだ。私だってやりたいことはたくさんある。今は幼い子どもだって、時とともに成長するのだ。私もいつまでも、キッチンの中だけで満足してられないかもしれない。そのとき、どうするのかなあ。夫と息子は、やっぱり食事ができるのを得ているのかしら？ それとも自分で作るの？ え？ 自分の分だけですか？ それはないんじゃないの？